



平成31年2月12日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総務部

広報・渉外課

宮崎大学第8回国際シンポジウム「国境なき家畜伝染病防疫対策の取り組み」の開催について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究・社会貢献活動についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本学では、第8回国際シンポジウム「国境なき家畜伝染病防疫対策の取り組み」を開催し、アフリカ豚コレラの脅威と宮崎大学産業動物リサーチセンターが取り組む先端研究について講演いたします。

畜産物の安全性と信頼性を高める疾病予防研究をご紹介しますとともに、疾病による畜産業の経済的損失の減少対策について検討します。

つきましては、貴社の「インフォメーションコーナー・お知らせコーナー」等に掲載して頂くとともに、取材していただきますようお願いいたします。

敬具

記

開催日時 2月15日(金) 9:20～16:40

場 所 宮崎大学創立330記念交流会館(木花キャンパス 宮崎市学園木花台西1-1)

対 象 一般

参加費 無料

※詳細は別紙をご覧ください

宮崎大学 第8回国際シンポジウム

国境なき家畜伝染病防疫対策の取り組み

—宮崎大学産業動物防疫リサーチセンターが取り組む先端研究—

- 日 時 : 2019年2月15日(金) 9:20-16:40 (9:00受付開始)
- 場 所 : 宮崎大学創立330記念交流会館(木花キャンパス 宮崎市学園木花台西1-1)
- 参加費 : 無 料
- 参加申し込み方法 : 下記URLからお申込ください。携帯電話はこちらから ↓
(<http://u0u0.net/NXFm>)



■ プログラム

【第1部:9:30~12:10】

● アフリカ豚コレラの脅威

1) アフリカ豚コレラ: 中国の養豚産業における新たな“敵”

中国・南京農業大学獣医校 Dr. Bin Zhou

2) アフリカ豚コレラ: 最近の発生事例から学んだ教訓

タイ国・チュラロンコン大学獣医学部 Dr. Roongroje Thanawongnuwech

3) アフリカ豚コレラ サブユニットワクチン開発の取り組み

米国・カンザス州立大学獣医校 Dr. Waithaka Mwangi

【第2部:13:20~16:40】

● 宮崎大学・産業動物防疫リサーチセンターが取り組む先端研究

1) 牛白血病の浄化技術・宮崎メソッド: 目堅 博久(感染症研究・検査部門)

2) 牛マイコプラズマ肺炎の病態診断に関する研究: 上村 涼子(防疫戦略部門)

3) ウイルスと細菌による複合感染症: 牛呼吸器症候群の病態解明: 岡林 環樹(感染症研究・検査部門)

4) 牛の診療データや生産成績を活用したリスク因子の探査: 佐々木 羊介(防疫戦略部門)

5) 口蹄疫発生時の危機管理を支援するリアルタイム意思決定システム: 関口 敏(防疫戦略部門)

6) 試験管内プリオン増幅法の近年の発展と応用: 新 竜一郎(感染症研究・検査部門)

7) 牛MHC II テトラマーを使った口蹄疫ウイルスのCD4T細胞エピトープマッピング: 乗峰 潤三
(国際連携・教育部門)

8) 自然素材を用いた畜産環境浄化技術と食肉の微生物制御技術: 三澤 尚明(感染症研究・検査部門)

9) ズビエの食肉特性: 河原 聡(畜産研究・支援部門)

10) 農業生産工程管理(GAP)と関連する技術研究: 小林 郁雄(畜産研究・支援部門)

11) 産業動物防疫の教育研究拠点の創成とグローバル人材育成: 野中 成晃(国際連携・教育部門)

問合せ先: 宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

■ 電話: 0985-58-7674 ■ メール: cadic@cc.miyazaki-u.ac.jp

主催: 宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

共催: 宮崎大学農学部、宮崎大学人獣共通感染症教育・研究プロジェクト

後援: 農林水産省、宮崎県、東京農工大学国際家畜感染症防疫研究教育センター、鳥取大学鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター、鹿児島大学越境性動物疾病研究センター

